

口永良部島

概 況

2月2日から身体に感じない火山性地震が多発し、3月14日まで消長を繰り返しながらも多い状態が続いていましたが、その後、火山性地震の発生は少なくなっています。しかし、火山性微動は時々発生するなど火山活動はやや活発な状態で推移しました。

噴煙活動の状況

上屋久町口永良部島出張所によると新岳・古岳からの噴気には特に変化は認められませんでした。

10日から気象庁が口永良部島に設置した監視カメラの運用を開始しましたが、新岳・古岳からの噴気は観測されませんでした。

地震・微動活動の状況

火山性地震は、13日の日回数25回を最高に15日以降少なくなりました。火山性地震の発生回数は1日あたり0~25回で月回数は196回(2月:315回)と少なくなりました(図1)。

火山性微動は、21日1回、30日5回、31日3回発生し、月回数10回(2月:48回)と少なくなっています(図2)。

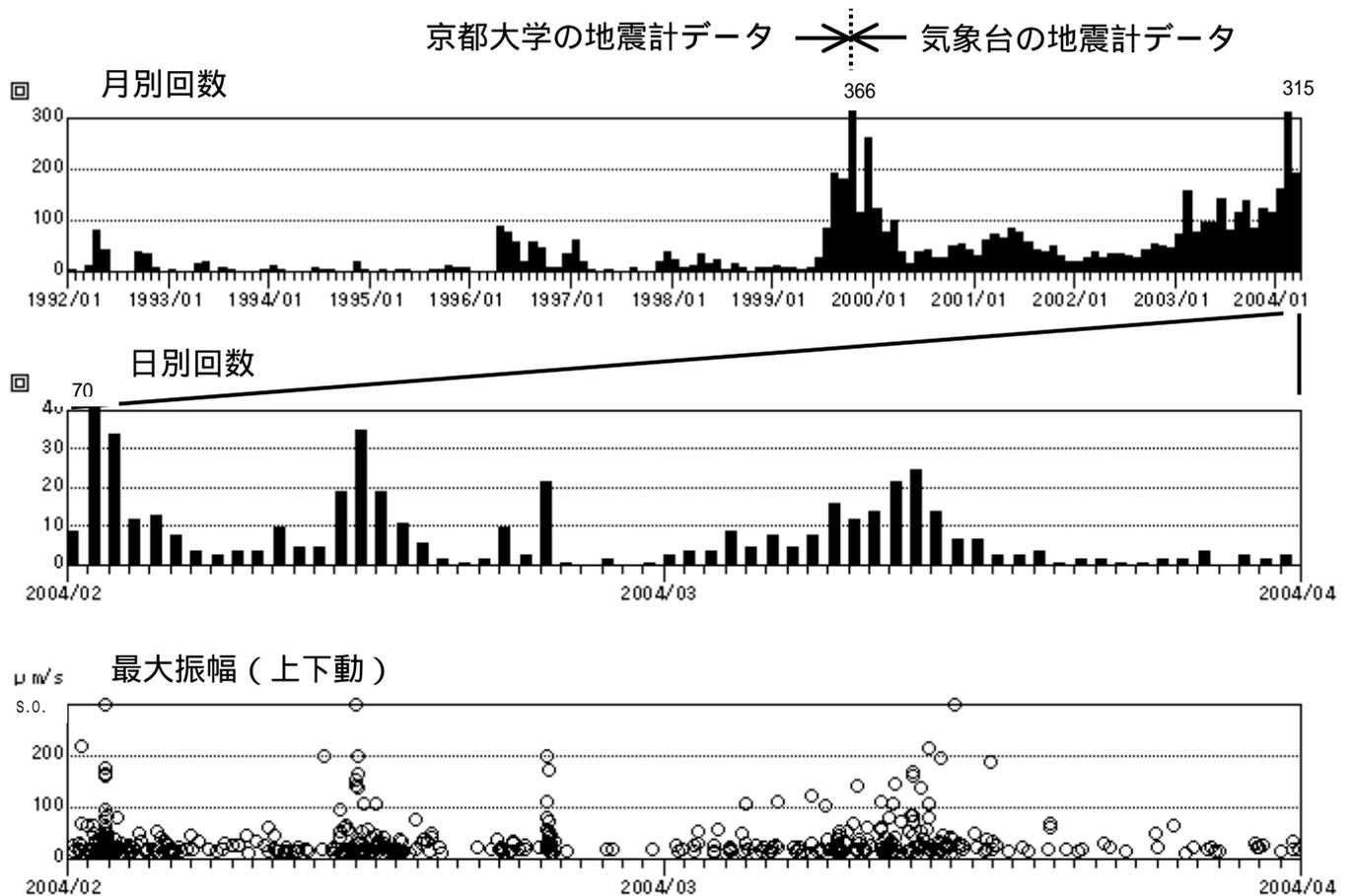


図1 火山性地震活動経過図(1992年1月1日~2004年3月31日)
(1999年9月12日までは、京都大学が口永良部島観測点の地震計で計数したデータを利用)

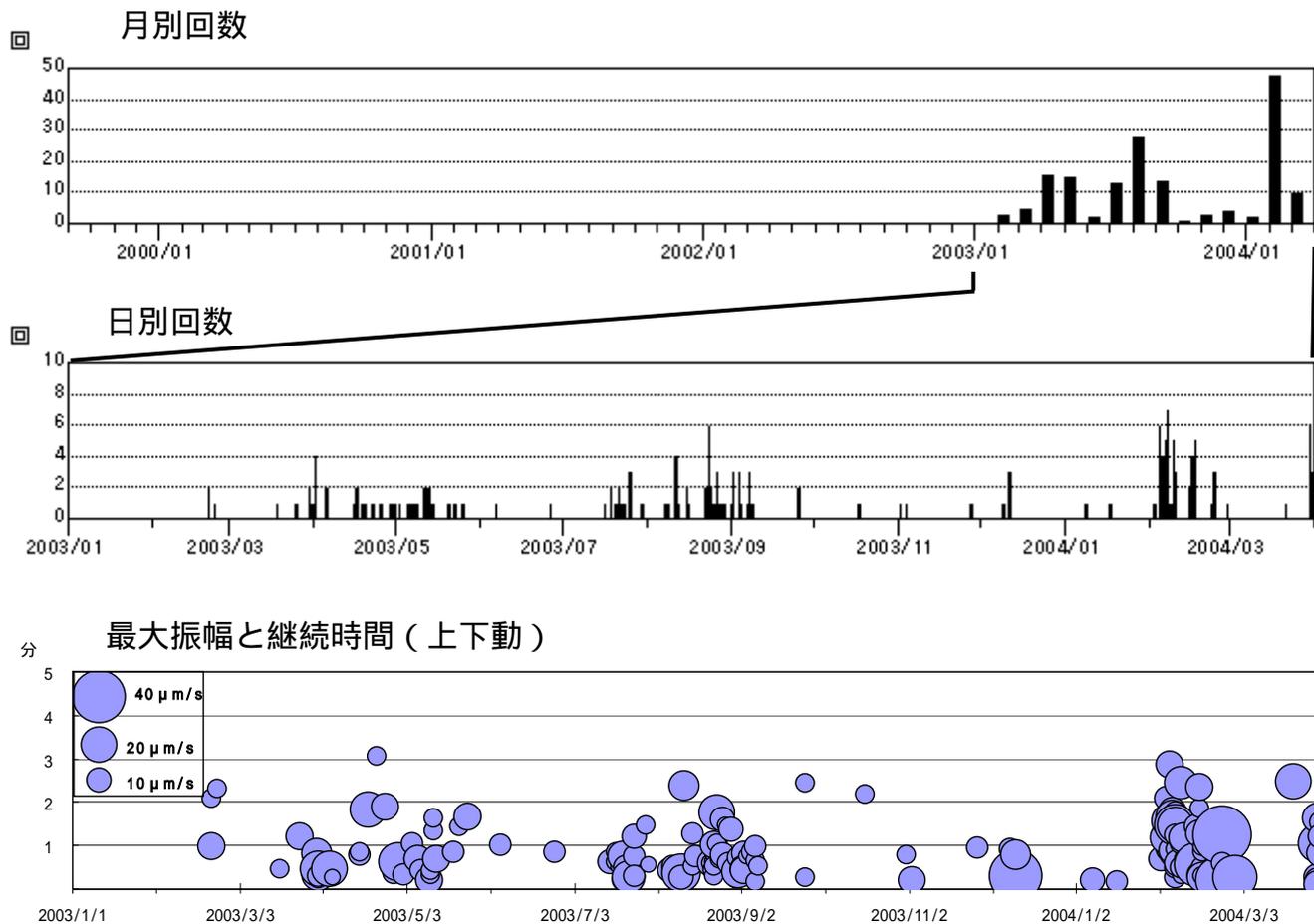


図 2 火山性微動活動経過図(1999 年 9 月 13 日 ~ 2004 年 3 月 31 日)

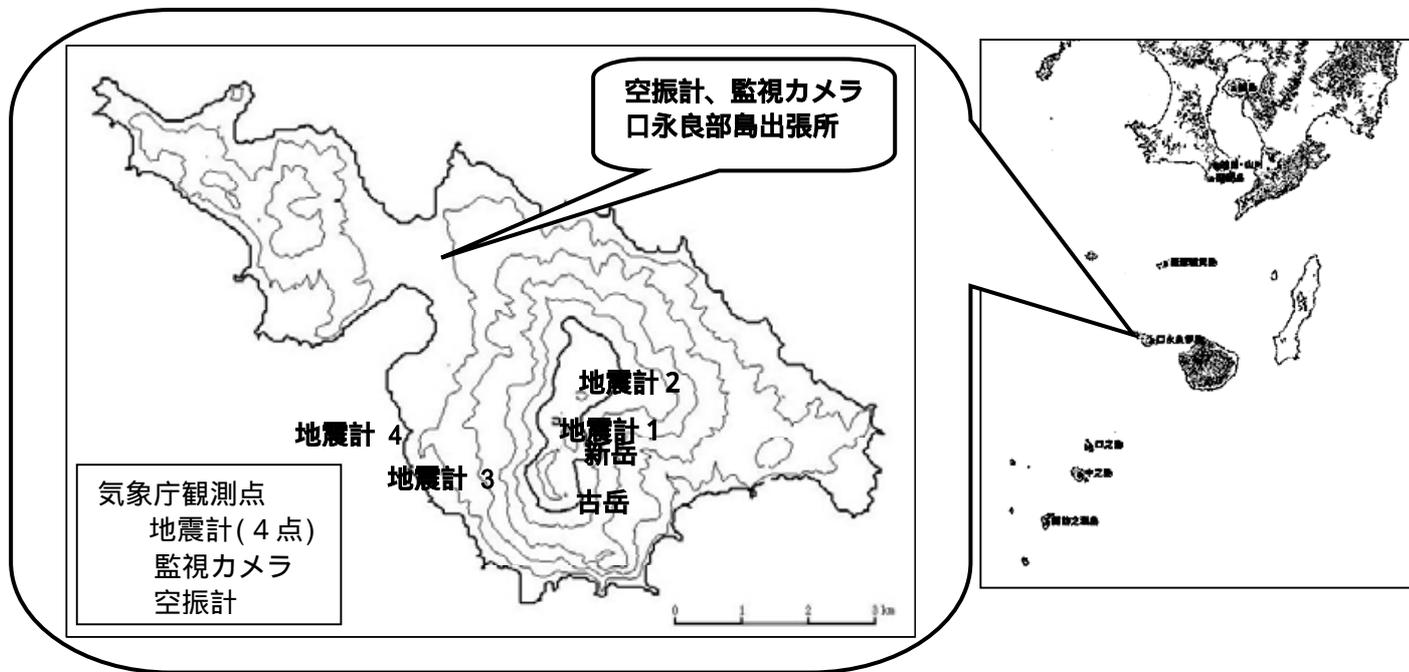


図 3 観測点位置図